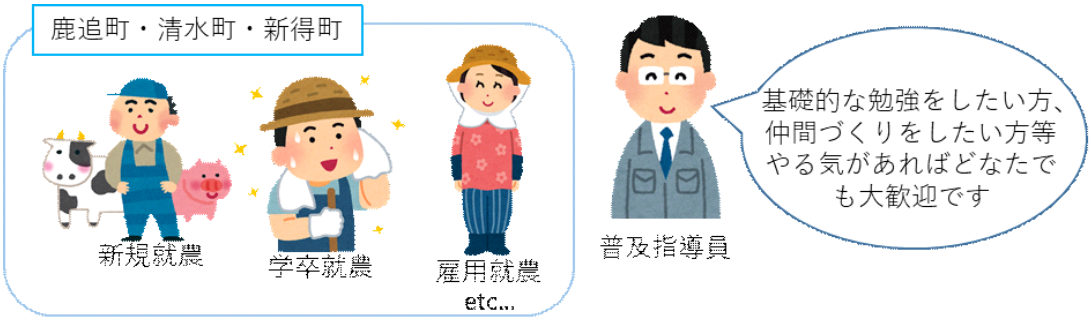
農業基礎ゼミナールによる青年農業者の営農資質向上

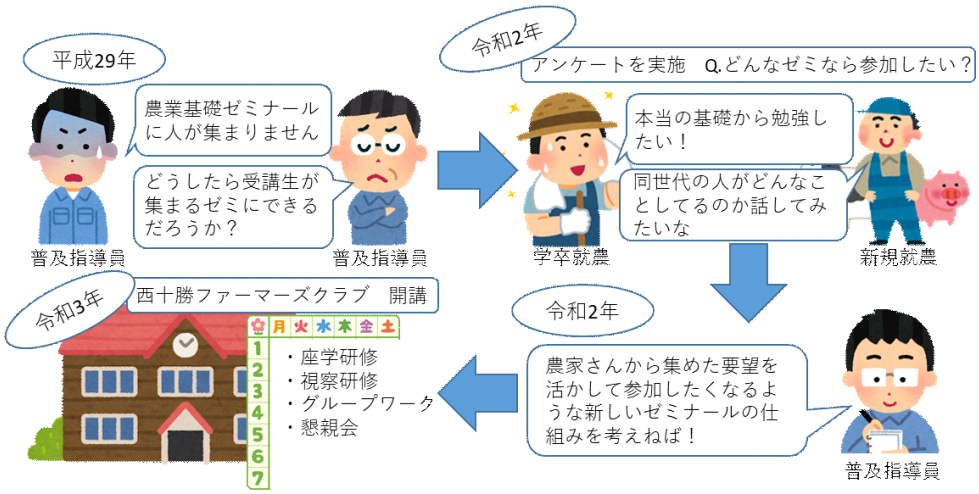
～ゼミによる学習支援と仲間づくり～

十勝農業改良普及センター十勝西部支所　地域係

1　活動対象及び概要



2　背景・ねらい



3　活動の経過

時期	内容	対象人数	時期	内容	対象人数
令和2年12月 令和3年1月	事前アンケート	19人	令和3年10月	第3回研修（酪農） 牧草の草種と特徴・ 草地管理・グループワーク	5人
令和3年2月	受講者募集 受講生14名（畑作5名、酪農8名、畑酪複合1名）	十勝西部 管内全戸	令和3年11月	第4回研修（畑作） 小麦、豆類の基礎・ R3年の作柄・グループワーク	4人
令和3年4月	第1回研修（畑酪共通） 西部管内の農業概要・ 畑酪の豆知識・グループワーク	10人	令和4年1月	第5回研修（酪農） 飼養管理について（資料配付のみ）	8人
令和3年7月	第2回研修（畑作） ばれいしょ、てんさいの基礎、 土づくり・グループワーク	4人	令和4年2月	懇親会（中止）	－
				第6回研修（経営　中止）	－
令和3年8月	土壌断面調査	1人	令和4年3月	第7回研修（畑酪共通） 農薬の効果的な使い方（仮題）	
	懇親会（中止）	－			

新型コロナウイルスの発生状況に応じて研修会・懇親会の延期、中止等を判断した。

4　活動の成果

(1) 青年農業者のニーズの集約

関係機関（各町農協・役場）と連携して「西十勝ファーマーズクラブ」の受講対象者のリストを作成しアンケートを実施したところ、受講対象者間に農業知識の習熟度に差が見られることや、それぞれが学びたい内容などを把握することができた（図１）。

Q　どんな内容の講座を希望しますか？

～畑作～
・作物の基礎知識　・作物の特徴　・昔と今の違い
～畜産～
・乳房炎　・繁殖　・草地　・TMRCの利活用　・飼育管理
病気・健康管理・飼料設計　・血統、ゲノム
～その他～
・省力化　・経営　・参加者との交流　・気象

図１　事前アンケートで聞かれた希望

(2) 受講生の確保

受講対象者に事前アンケートを行ったことで、ゼミナールの存在を周知させることができたため、活動初年ではあるものの14名の受講生を確保することができた。

(3) 講義内容の充実

受講生の要望を講座内容に反映させるとともに、地域の指導農業士・農業士会と連携し、指導農業士による講座や指導農業士を交えたグループワークを行うことで受講生の満足度が高い講座を行うことができた（図２）。到達目標の「営農資質が向上したと感じる受講生」は今後アンケートにて確認する。

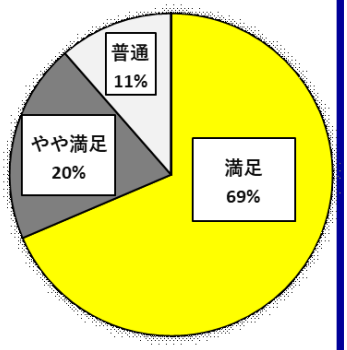


図２　講座後の受講生アンケート満足度

写真１　指導農業士を交えたグループワークの様子

写真２　座学の様子

5　今後の対応

(1) 継続に向けた活動の整理

今年度の活動を整理し、次年度以降の受講生確保・講座の充実化を図る。

(2) コロナ対応にかかる補填

今年度、新型コロナウイルスにより、視察研修や座学研修、懇親会が開催できず、受講生に対して十分な活動が展開できなかったため、今年度の受講生についても引き続き受講してもらえるように案内をする。